

12 月上中旬咲き赤色系寒菊品種の開花特性評価

岡澤立夫・板橋優人・山崎あゆみ*

(園芸技術科・*中央普セ)

【要 約】赤色系寒菊「寒あまね、夕映え、ミーア、テリーサ」は簡易な霜よけを用いた露地と無加温ハウス栽培において 12 月上中旬に咲き、品質的にも生産者の評価が高い。

【目 的】

昨年度までに白色系、黄色系の 12 月上中旬咲き寒菊の有望品種を明らかにした。今年度は、赤色系の寒菊品種「寒しゅまり、ロディ、夕映え、寒椿、ミーア、テリーサ、寒あまね、花の里、夢ロマン」9 品種について切花特性を評価し、有望品種を選定する。

【方 法】

「花の里、夢ロマン」は 200 穴セルトレイの購入苗を用いたが、それ以外は農総研保有の親株から 2022 年 6 月 1 日に挿し穂を採取し、発根後の 7 月 1 日に 6 cm ポットへ鉢上げした。いずれも 7 月 21 日、露地とビニールハウスへ定植した (9215 白黒ダブルマルチ)。基肥として 10 a あたりエコロング 413 (100 日) 80kg, 化成 8 号 100kg, ヨウリン 20kg, みのり堆肥を 2 t 施用した。8 月 8 日に 7 節残して摘心し、9 月 1 日に 5 本に整枝した。8 月 23 日、コーティング肥料 (16-9-12) を 2 g/株を追肥した。露地は 10 月 26 日から霜よけのためのビニールを被覆した (上面のみ、妻面は解放、側窓は肩下 20cm まで、以下露地)。11 月 16 日まではハウスは側窓を常時開放したが、快晴を除き日中は閉じた (無加温)。

【成果の概要】

1. 11 月中旬～12 月中旬の夜温は無加温ハウスよりも霜よけを用いた露地で低かったがその差はわずかだった。日中の温度は露地と比べハウスで 7℃以上高かった (図 1)。
2. 開花は「テリーサ、花の里」が最も早く、いずれもハウスで 12 月 1 日、露地で 12 月 2 日であった。「ロディ」のみハウスと比べ露地で開花が早かった。露地の「寒椿」は 12 月中旬までに開花に到らなかった。切花長はハウスの「テリーサ」が最も長く、120cm を超えた。切花重は「寒あまね、ミーア、テリーサ」が 120 g 以上と高く、調整重も 70 g 以上あった。分枝数はハウスの「夕映え」で 20 本以上と多く、ハウスの「寒しゅまり」で 9 本以下と少なかった。「夕映え」では露地とハウスで分枝数に大きな差が生じ、これは露地でのみ主茎の成長点が座死し、側芽が発達したことが原因であったが (原因不明)、切花品質上問題とはならなかった。花径は「寒しゅまり」で 4 cm 台と小さく、「ミーア」で 7 cm 以上と大きく、露地よりもハウスで大きくなる傾向にあった (表 1)。
3. アンケート調査の結果、「寒あまね、夕映え、ミーア、テリーサ」の評価が 4.0 以上で高かった (表 2)。評価のポイントとして、「寒あまね」は花数の多さ、花弁の丈夫さ、「夕映え」は八重花のボリューム、花色の合わせやすさ、「ミーア」は淡い花色、花の大きさ、「テリーサ」は花色の明るさ、緑芯の良さなどが挙げられた (表 3, 図 2)。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本年は平年と比べ気温が高く推移し (図 1 脚注)、開花が早く進んだ可能性がある。

表1 供試品種の切花形質

品種名	花色 ^a	栽培場所	開花始め ^b (月日)	開花盛期 ^c (月日)	切花長 ^d (cm)	切花重 ^e (g)	調整重 ^f (g)	節数 ^g (節)	分枝数 ^h (本)	花蕾数 ⁱ (個)	花径 ^j (cm)
寒あまね	鮮赤紫 9507	露地	12月9日	12月15日	97.2	121.0	70.5	42.0	15.1	39.4	5.2
		ハウス	12月9日	12月12日	106.2	163.4	88.8	45.6	19.1	61.6	5.4
夕映え	濃赤 0409	露地	12月8日	12月10日	80.1	93.1	57.5	38.5	9.1	29.1	6.3
		ハウス	12月6日	12月9日	114.2	121.5	60.0	49.2	20.5	37.2	6.5
ミーア	ピンク白 0701	露地	12月4日	12月9日	93.7	137.4	81.9	35.0	13.6	33.8	6.9
		ハウス	12月2日	12月3日	92.4	134.9	84.6	36.8	15.6	44.2	7.8
テリーサ	紫ピンク 8903	露地	12月2日	12月9日	114.7	141.9	73.7	42.0	15.1	35.3	6.3
		ハウス	12月1日	12月2日	123.8	124.0	61.7	42.9	19.0	37.8	6.8
ロディ	濃紅 0108	露地	12月11日	12月18日	118.3	132.5	61.7	49.4	20.0	34.1	7.2
		ハウス	12月15日	—	—	—	—	—	—	—	—
寒しゅまり	明赤紫 9506	露地	12月2日	12月5日	88.6	116.5	83.1	47.0	16.2	65.7	4.0
		ハウス	12月2日	12月4日	89.0	73.4	58.6	41.0	8.8	50.3	4.3
花の里	鮮紫ピンク 9204	露地	12月2日	12月8日	68.9	55.4	47.0	28.9	9.5	20.7	5.0
		ハウス	12月1日	12月2日	75.2	63.9	48.0	30.8	11.3	32.8	5.6
夢ロマン	濃紅 0108	露地	12月16日	—	—	—	—	—	—	—	—
		ハウス	12月14日	12月18日	—	—	—	—	—	—	—
寒椿	紫赤 9708	露地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ハウス	12月18日	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 表2の評価の高い順に開花調査は開花盛期に実施, 注2) —:開花盛期に到らず, 未調査, 注3) 表中の記号は t 検定の結果。**:1%水準で有意差あり, *:5%水準で有意差あり, NS:有意差なし, a) 花色は日本園芸植物標準色票, b) 開花始めは2輪以上が開花した時点, c) 株の80%以上が開花した時点, d) 分枝基部で収穫し, 下部から先端までを測定, e) 無調整重, f) 70cmで切断し, 下部から20cmの葉や側枝を取り除いた重量, g) 主茎の止め葉まで, h) 5cm以上, i) 幅が5mm以上の蕾+展開途中の花+完全展開した花, j) 花弁が開いた状態

表2 切花生産者に対するアンケート結果

品種名	寒あまね	夕映え	ミーア	テリーサ	ロディ	寒しゅまり	花の里	夢ロマン	寒椿
5段階評価	4.7	4.2	4.1	4.0	3.9	3.5	3.4	2.9	2.6

注1) 都内切花生産者12名を対象にアンケート調査(露地, ハウス両方を見て総合的に判断)

注2) 調査日は2022年12月8日。「夢ロマン, 寒椿」は着蕾しているものの開花していない状態で評価

注3) アンケートは5段階評価とし, 1:悪い, 2:やや悪い, 3:普通, 4:やや良い, 5:良い。データは平均値

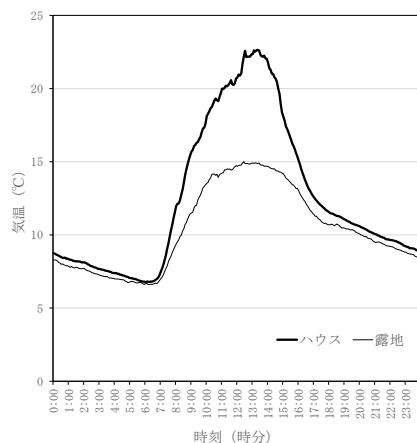


図1 11月中旬以降の気温

注1) 11/16~12/12の気温を日周平均化した。

注2) 平均気温は平年値(府中市)9.4°Cに対し, 露地10.4°C

表3 人気4品種の評価ポイント

品種名	評価ポイント
寒あまね	緑芯が良い 花弁が丈夫そう 咲き進んでも花色がきれいに出ている 花数が多い
夕映え	八重咲で花にボリュームがある 花色が濃赤できれい 白色系の花と合わせやすい
ミーア	咲き始めの形がかわいい 花色が淡くかわいらしい 花が大きい
テリーサ	花が大きい 緑芯が良い 花色が明るいピンク色

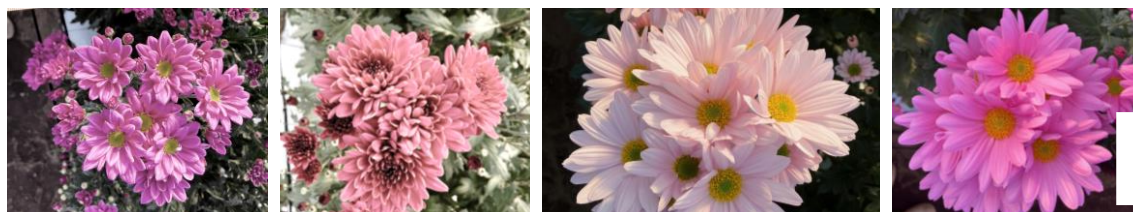


図2 生産者による評価の高かった品種

注1) 左から「寒あまね, 夕映え, ミーア, テリーサ」

注2) 図中のバーは5cm